

「平成28年度実践的な手術手技向上研修事業」

採択を受けて

産業医科大学における取り組みと現状

産業医科大学 脳神経外
科

西澤 茂

事業遂行のための経過

「平成28年度実践的な手術手技向上研修事業選定通知」
平成28年6月14日付



外科系診療科に参加有無の確認
研修事業遂行のための準備



「平成28年度実践的な手術手技向上研修事業委託費交付決定通知書」
平成28年11月21日付



事業計画・立案 平成28年11月-12月



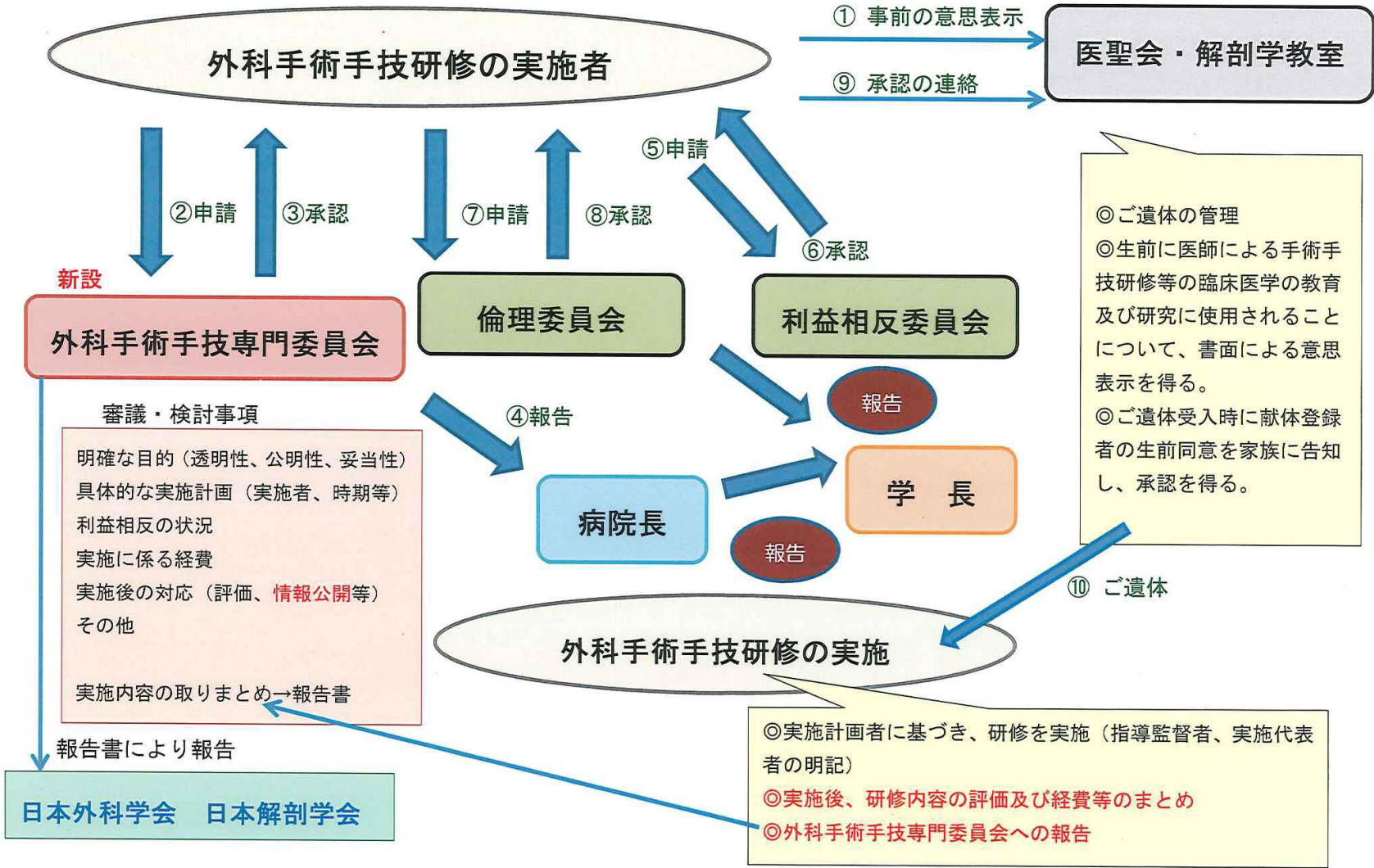
参加各科から大学倫理委員会／利益相反委員会に書類提出
平成28年12月9日承認

「平成28年度実践的な手術手技向上研修事業」参加希望科

- 脳神経外科
- 整形外科
- 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- 第2外科（呼吸器・乳腺外科）
- 泌尿器科
- 産婦人科
- 救急医学
- 第1外科（消化器、肝胆膵外科）

予算案作成と日程調整

外科手術手技研修等の実施に係る学内の体制、要件等フロー



平成28年度実践的な手術手技向上研修事業 実施計画書

- 第2外科 : 呼吸器外科・乳腺外科の手技手技 (2017/1/8)
- 第1外科 : 腹部臓器腫瘍に対する外科手術手技 (2017/1/22)
- 脳神経外科: 頭蓋底外科手術 – Dolenc 手術の手術手技 (2017/1/29)
- 脳神経外科: 頭蓋底外科手術 – 経錐体手術 (2017/2/5)
- 産婦人科 : 傍大動脈リンパ節郭清術 他 (2017/2/19)
- 耳鼻咽喉科・頭頸部外科: 耳の手術、頸部郭清術の手術手技 (2017/2/25 - 2/26)
- 泌尿器科 : 後腹膜臓器に対する手術手技 (2017/3/5)
- 救急医学 : 救急医学に必要な外科手技 (2017/3/19 – 3/20)
- 整形外科 : 関節内視鏡外科 手の外科手術手技 (2017/3/25 – 3/26)

平成28年度実践的な手術手技向上研修事業

— 平成26年度、27年度との違い —

- 誓約書の提出

個人情報保護。

学会発表時には学内専門委員会の許可が要ること。

平成28年度実践的な手術手技向上研修事業 脳神経外科(2017/1/29)



平成28年度実践的な手術手技向上研修事業

第2外科

参加者：学内 14名

学外 2名 計16名

(山口県)

第1外科

参加者：学内 19名

学外 4名 計23名

(愛知県、山口県、福岡県、鹿児島県)

脳神経外科

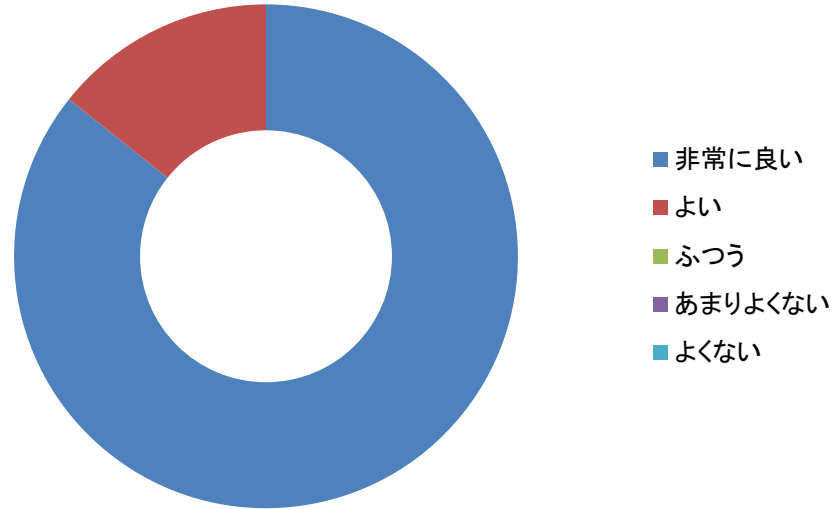
参加者：学内 8名 (延：13名)

学外 18名 (延：25名)

計 26名 (延：38名)

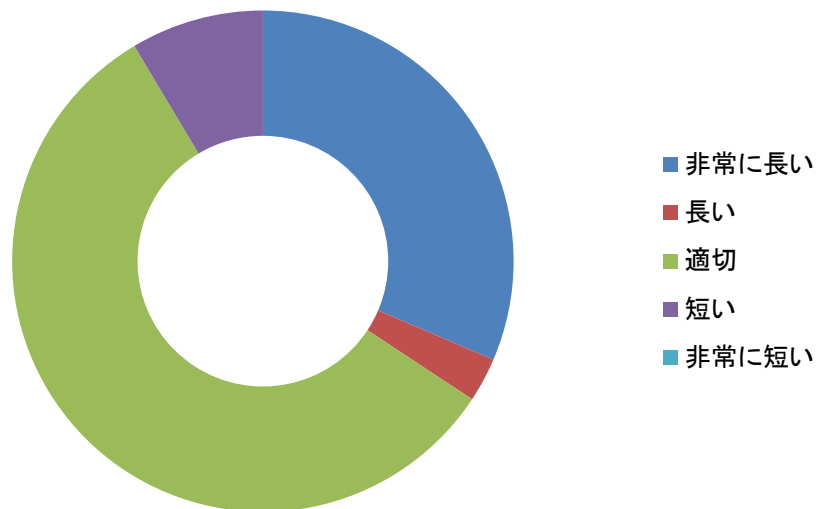
(京都府、広島県、山口県 愛媛県、福岡県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)

脳神経外科：アンケート結果 実習内容について



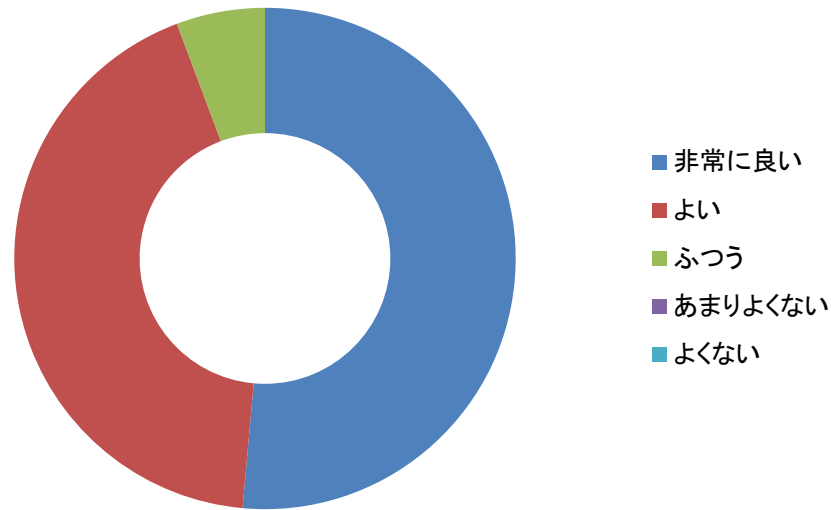
非常によい	85.7%
よい	14.3%
ふつう	0%
あまりよくない	0%
よくない	0%

脳神経外科：アンケート結果 実習時間について



非常に長い	0%
長い	2.9%
適切	88.5%
短い	8.6%
非常に短い	0%

脳神経外科：アンケート結果 手術器具（物品）について



非常によい	51.4%
よい	42.9%
ふつう	5.7%
あまりよくない	0%
よくない	0%

サージカルトレーニングで得られた効果

- 困難な手術アプローチの外科解剖の理解に非常に有用であった。
- 若手の手術手技向上教育に役立つ。
- Thiel 法により、実際の手術と同じような感覚で手術トレーニングが行えた。(筋肉、頭蓋骨)
- Thiel 法での固定は脳実質の固定には弱すぎる。(時間が経つとともに脳実質は融解してくる)

事業運用における課題

1. 予算配分と日程調整に苦労した。

消耗品、講師謝金(交通費を含め)

2. 各科から献体ご遺体に対する要求があり、それに答えるご遺体の数が足りなかった。

3. 日程調整: 系統解剖実習が12月末まであり、すべての日程を1-3月で行わなければならない。
センター試験、大学入試期間中はトレーニングは行えない。

4. 解剖学教室スタッフの負担増

今後の課題

- 予算配分をどうするか。超過分の調整。
- 日程調整 — 過密スケジュールと献体数の確保。
- 手術手技向上研修事業をおこなうための場所の確保。
- 受講料はどのくらいが妥当か。誰が管理するか。
- 解剖学教室スタッフの負担軽減をどうするか。